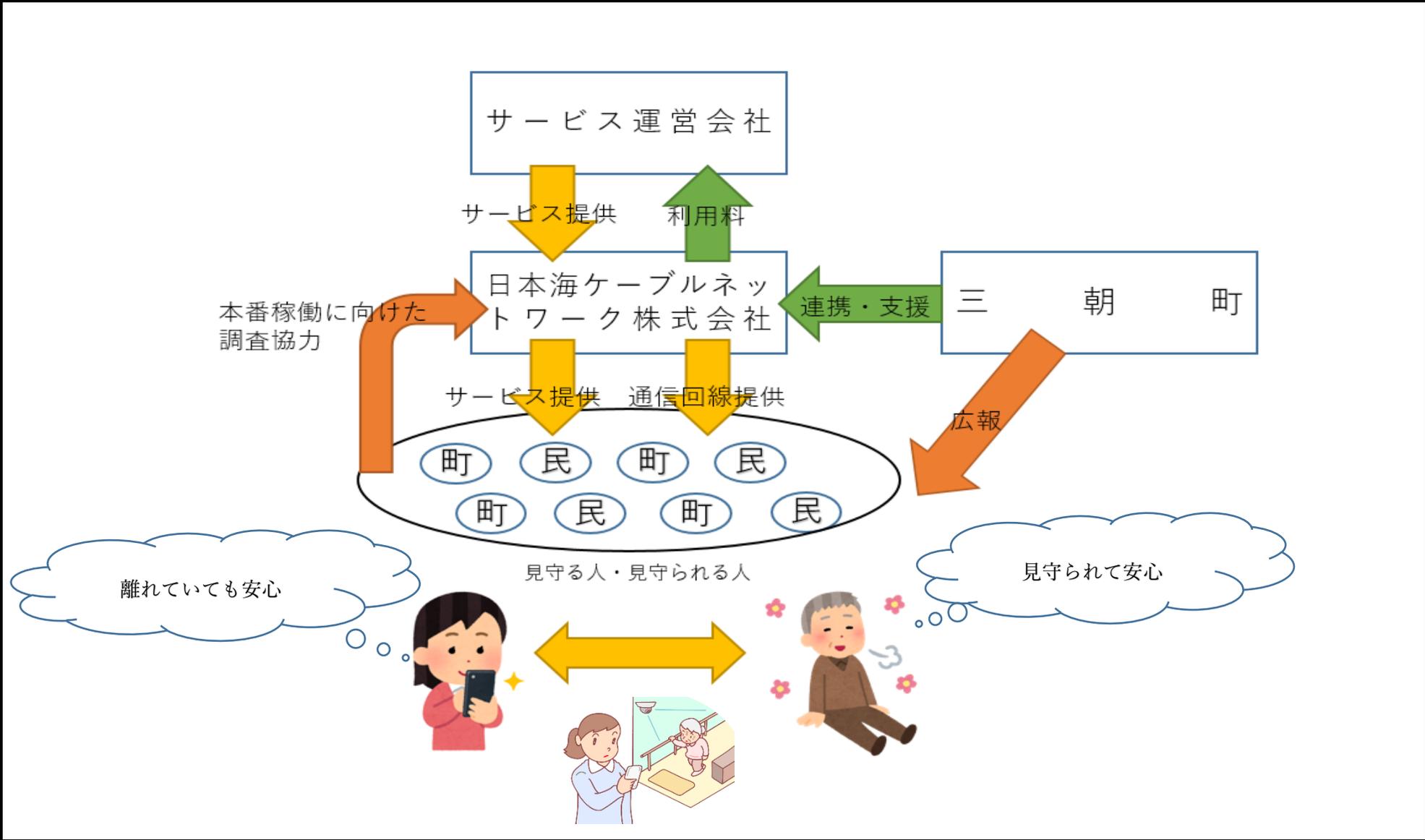


取組名称「光化見守り実証実験事業」概要図（アイデア部門）



## 取組調書（アイデア部門）

地方公共団体名	鳥取県三朝町		
アイデア名称	光化見守り実証実験事業		
連携自治体、企業、団体等	日本海ケーブルネットワーク株式会社（以下、「NCN」と略。） ※三朝町が令和2年度に整備した光ファイバー等の貸出相手（IRU契約）		
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	(種類) (注)	①	(左記が①の場合の分野) その他
	<p><b>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</b>  ○NCNが展開する高齢者等見守りサービスについて、持続可能なサービス内容、制度をさぐるべく町と連携して実証実験に取り組む。</p> <p><b>【実施に至る経緯・動機】</b>  ○令和3年度、三朝内全エリアにおいてケーブルテレビネットワークが光化され、どこに住んでいても、高度な通信環境の利用が可能となった。  →光回線の特徴である通信の上り速度が安定したことで、双方向サービスの導入に適した環境が整った。  →耐災害性も向上したことで、被災時における通信遮断といったリスクも低減された。</p> ○従来から、町を離れて暮らす家族から、安価で、利用しやすい見守りサービスが望まれていた。コロナ禍となり、特に往来が困難となったことで、同様の要望が強くなっていた。 ○サービス導入にあたり、需要の有無や適切な料金、サポート体制等を正確に測定する必要がある。 →持続可能なサービス展開とするために必要。 <p><b>【解決する課題の具体的な内容】</b>  光回線を利用した、見守りサービス  →一人の世帯はもちろん、離れて暮らす家族も安心できる町、人が少なくなっても幸せに暮らせる町、「安全・安心な町 三朝町」の実現  →積極的な光ファイバー網を活用し、スマートタウンの実現</p>		
デジタルの活用により目指す成果（数値）	ケーブルテレビ加入者数 2,200件 見守りサービス利用者数 100件 利用者満足度 (サポートを含めて) 満足している 80%以上 ※アンケート調査を想定		

<p>本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>○実態に即したサービス展開が可能          実証実験で得られた結果を本格開始後にそのまま活用することができるため、本町の実態に即した見守りサービスの運用が可能となる。</p> <p>○NCNによるサービス導入支援、サポート体制          高齢者の見守りサービスは既に多くあるが、その大半が民間業者と個人が契約を結ぶものとなっている。このため、導入時の設定作業、運用開始後に発生するエラー対応といったメンテナンス等は個人が担う必要がある。そういった際の対応が高いハードルとなってしまう。この点、本町ではNCNが間に入ってサービス展開をするため、懸念される負担部分へのサポートが可能となる。</p> <p>また、本町でのケーブルテレビは平成16年から展開し、NCNがサービス展開を担ってきた。町民の8割以上が加入しているNCNと町民の間で、これまで築かれてきた信頼関係が有効に作用することも期待できる。</p> <p>○安定的な運用が可能          通信インフラに光のケーブルネットワークを利用することで、安定的な運用が可能となる。また、山間部が多い本町のうち、特に奥部集落では携帯電話の全キャリアが過不足なく使用できる状態でないエリアもあり、ケーブルネットワークを利用することで、どこでも見守りサービスの利用をすることができる。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>令和4年度          ・実証実験事業</p> <p>令和5年度          ・光化見守りサービス開始</p> <p>将来的な展望          ・空き家等の防犯対策をはじめとした利用シーンの拡大          ・NCNと連携し、光化の恩恵をもっと住民に与えられるように他のサービスにも展開していく（スマートメーター、スマート農業等）</p>

注： 以下の①または②のいずれかを選択

- ① デジタルの活用により、次の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や地域の産業振興につながっているもの。  
 （・医療 ・教育 ・子育て ・物流 ・交通 ・農林水産業 ・中小企業 ・観光 ・防災）
- ② 高齢者、障がい者などデジタルに不慣れな人々がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境づくりを既に進めるなど、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰一人取り残されない」社会の実現に寄与しているもの。